

地球温暖化の原因である化石燃料の消費により得られるエネルギーは極めて多様かつ複合的に使われるため、その対策として、温暖化防止の効果に照らして、優先的かつ重点的に取り組むことが重要です。温暖化防止対策のうち大きな効果が期待される省電力化、社用車からの排出、ガス・燃料の消費について、2010年に向けた削減目標を設定し、実行管理を行っています。2003年度のCO₂総排出量は20.6万t-Cとなり、前年度より約1.6%増加しました。

省電力化の推進

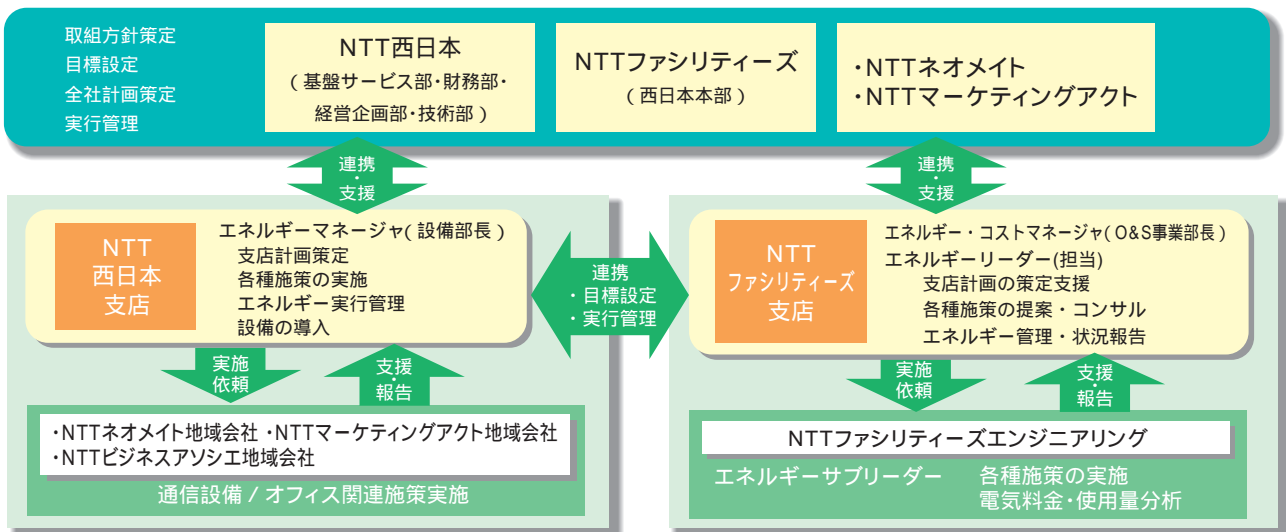
TPR運動(トータルパワー改革運動)

IT化に伴う情報流通社会の進展により、通信用電力エネルギー消費量の増加傾向が今後も続くことが予想されます。こうした状況を踏まえ、当社はNTTグループ各社とともに、「トータルパワー改革(TPR)運動」を推進してきました。TPR運動は、現用設備を電力使用効率のより良い設備へ更改し、設備の保守・運用部

門では空調運転台数の適正化、さらにはクリーンエネルギーシステム導入による電力自給率の向上などを推進しています。

このように、関連部門が一体となって電力の使用を抜本的に改革していく施策を実施しています。TPR運動推進体制を図に示します。

TPR推進体制



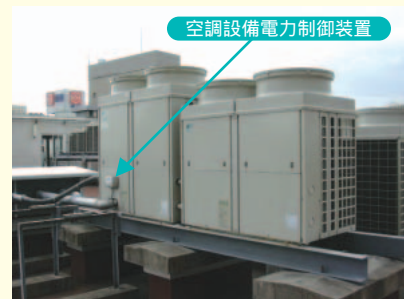
TPR運動事例 ~ NTT西日本三重支店の取り組み ~

空調設備のコンプレッサーを適切に制御。快適性を損なわずにCO₂削減

NTT西日本三重支店では、事業所の空調設備に外付けで設置できる省エネ制御システムを導入しています。このシステムはコンプレッサーのオン・オフを適切なタイミングで自動的にコントロールし、さらに制御中においても送風ファンを停止させないので、室内の快適さを損なわない配慮がされています。

当支店管内の9ビル39装置に導入を行い、年間98千kWh、10.7t-Cの削減効果がありました。

省エネを単なるコストダウンとして捉えず、NTT西日本三重支店にとっての環境経営施策と位置付け、今後も新たな施策を導入し地球環境保護の推進を図っていきます。



2010年度に向けた電力エネルギー - 削減ビジョン

NTTグループ(*1)では、1998年2月に「2010年に向けた電力エネルギー削減ビジョン」を策定し、具体的には、

- (1)ブロードバンド関連装置への直流給電化による低消費電力化の推進
- (2)クリーンエネルギー(太陽光・風力発電システム)による電力自給率の向上

など、電力エネルギーの削減に取り組んでいます。

これらの取り組みにより、2010年に100億kWh以上に達すると予想される電力購入量を、1990年水準の34億kWhに抑え、温暖化の主要因である二酸化炭素の排出量を抑えることにより、更なる環境負荷低減を目指します。

*1 NTT、NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、NTTドコモ、NTTデータ、NTTコムウェア

2003年度の実施結果

通信サービスは、主として固定電話網によるサービスとインターネットプロトコル(IP)による通信網を利用したサービスに分けられますが、それぞれに異なる通信設備を使用します。近年、インターネットの急速な発展とともにIP通信サービスのための通信設備による電力需要が急速に増大しています。一方、コロケーション(*1)やハウジング(*2)等により、当社施設内に配置される他事業者通信設備への供給電力も増加しています。

2003年度は、TPR施策により電力使用量を0.3億kWh(CO2排出量:0.3万t-C)削減しましたが、IP関連設備の増加やコロケーション設備の増加により電力使用量が増加し、前年度より0.3億kWh(CO2排出量:0.3万t-C)増加しました。

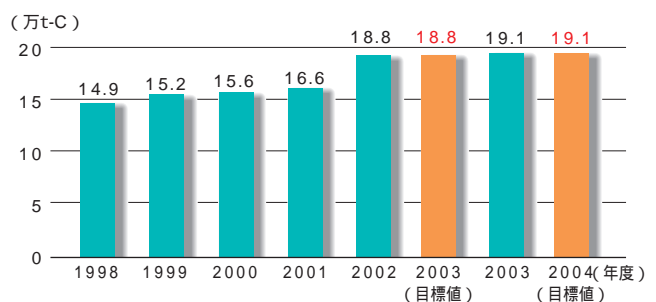
今後は、CO2排出量削減施策として、照明設備や通信機器用空調設備の効率化、通信設備のDC給電化(38ページ参照)の推進等を検討していくこととしています。

*1 当社と他の通信事業者とのネットワークを相互接続するために必要となる通信装置などを当社の通信施設内に設置すること。

*2 当社の通信施設内に、ユーザ等の通信機器(サーバ、ルータ等)を設置し、その機器を当社で管理・保守すること。

なお、通信用電力需要の増大がIT化という社会動向と不可分な関係にあることから、NTTグループ各社と協力して、情報流通サービスによる社会的な環境負荷低減効果等も視野に入れながら、環境管理手法や2010年度の目標値の見直しを検討しています。

電力使用によるCO2排出量の推移



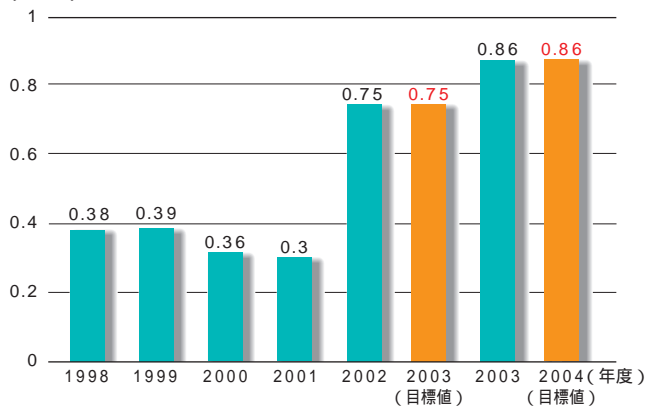
社用車からのCO2排出量抑制

社用車から排出されるCO2を抑制するため、低公害車の導入、アイドリングストップ運動の展開等、NTT西日本グループ(*1)一体となって取り組んでいます。

2003年度は目標値設定時に比べ営業用車両の走行距離が増加したことなどにより、目標値0.75万t-Cに対して0.86万t-Cを排出しました。

2004年度も走行距離の増加が想定されますが、CO2排出量は2003年度並の0.86万t-Cに目標設定し、アイドリングストップ運動の徹底および低公害車の導入を推進しCO2の排出抑制に努めていきます。

社用車からのCO2排出量の推移



(参考)低公害車保有台数(2003年度末)(台)

| 天然ガス自動車 | ハイブリッド自動車 | 合計 |
|---------|-----------|-----|
| 172 | 80 | 252 |

*1 2002年5月に実施したNTT西日本グループの再編成に伴い、NTTマーケティンググループ、NTTネオメイトグループまで環境保護の管理範囲を拡大したため、2002年度より、両グループ会社の所有する車両の影響を考慮しています。

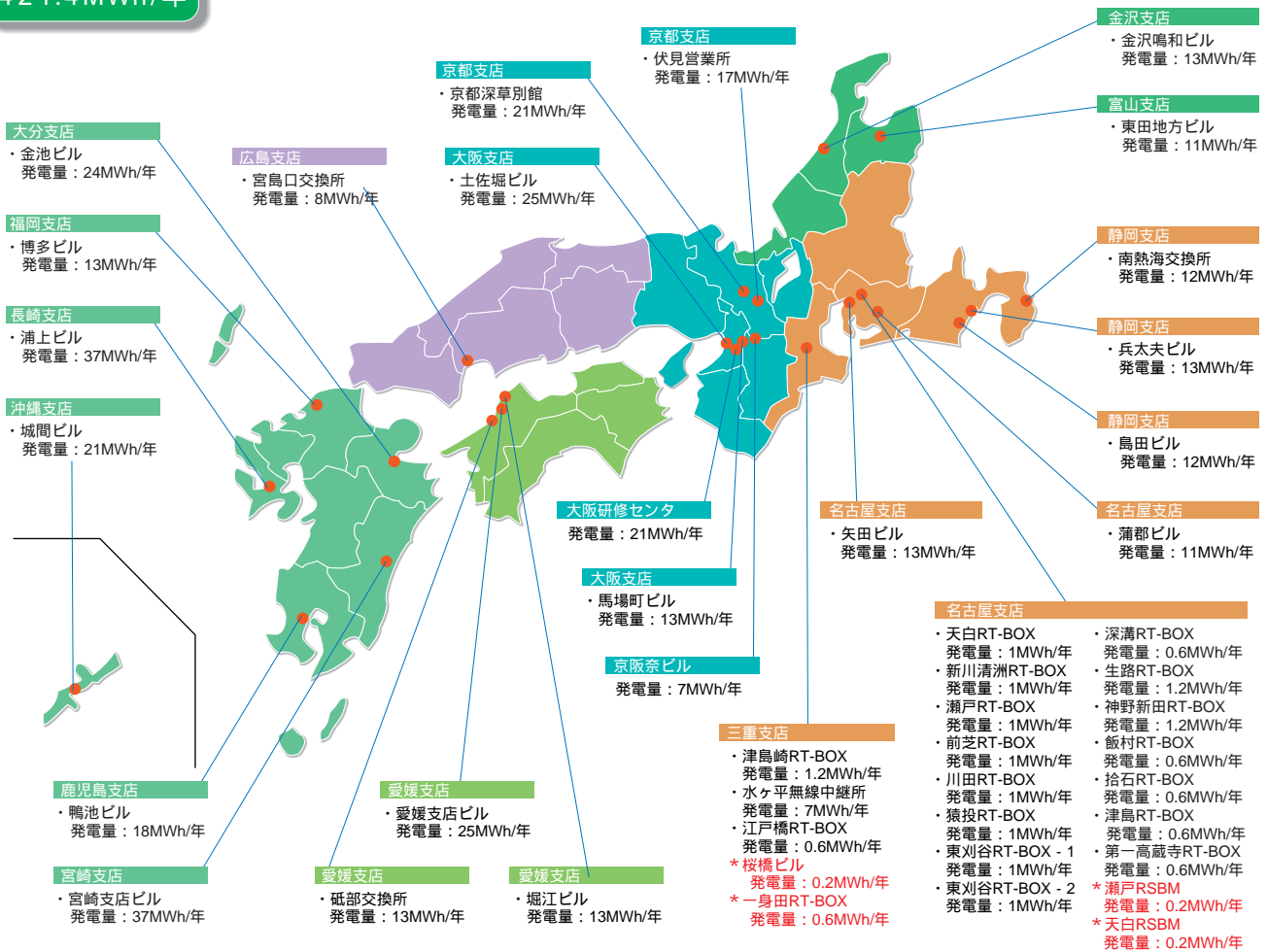


クリーンエネルギー設備の導入

当社ではCO₂を排出しないクリーンエネルギー設備の導入を推進しています。2003年度には、新たに4ビルに太陽光発電システムを導入しました。これにより導入ビル数は45となり、年間総発電量は421.4MWhになりました。

45ビル総発電量
421.4MWh/年

NTT西日本における太陽光発電システムの導入状況(2004.3月末現在)



*:2003年度導入

燃料(ガス・石油)の節減

当社の所有している主な建物で消費する、ガス燃料(主にCGSで使用)、石油燃料(主にボイラ-で使用)からのCO₂排出量の2003年度実績は0.62万t-C(前年度0.68万t-C)であり、燃料(ガス、石油)によるCO₂排出量は全社的な節減努力により前年度より0.06万t-Cの削減を達成しました。

2004年度は、目標値を0.62万t-Cに設定し、さらにCO₂排出の抑制に努めることとします。

今後も引き続き、燃料(ガス・石油)の消費量節減に向けて取り組んでいきます。

